

令和2年度事業報告書

自 令和 2年4月 1日

至 令和 3年3月31日

I. 事業活動の概況に関する事項

事業年度の主要経過

令和2年度は、急速な新型コロナウイルスの世界的な感染の拡大と我が国政府による緊急事態宣言の発令により幕が開けた。この宣言を受け都道府県では小中学校等の一斉休校を決定するとともに、在宅勤務や外出の自粛要請、飲食等のサービス業をはじめ幅広い業種に休業や営業の自粛を要請した。この宣言は5月末に解除されたものの、8月と11月にも感染が再拡大し、1月には再度1都3県と大阪府を含む7府県を対象に新型コロナウイルス対策措置法に基づく緊急事態宣言が発出され、3月中旬に至って解除されたところである。

新型コロナウイルスの拡大に伴う世界的な人とモノの動きの制限や、国内における感染拡大防止に向けた各種取り組みにより、経済面では、2020年4-6月期の実質GDP成長率が前期比年率▲28.1%と1994年以降で最大の落ち込みをみせるなど、企業経営や雇用・所得等に大きな影響が発生する局面を迎えたが、政府の一律10万円の特別定額給付や、企業に支給する「雇用調整助成金」の拡充などを盛り込んだ緊急経済対策の実施もあり、通年では実質GDPはマイナス4.8%の成長率で1年を終えたところである。

こうした中、社会面ではマスク着用や【三密】回避の行動様式の定着のほか在宅勤務や外出の自粛等の浸透に伴う「巣ごもり消費」が新たな生活様式として定着し、乳業界においても、海外観光客の急減や外出自粛の要請等を背景に、宿泊・飲食業等を介しての業務用乳製品の需要が落ち込む一方で、家庭内での牛乳・ヨーグルト等の需要が比較的堅調に推移した年であった。また、学校給食用牛乳供給事業については、4~5月の休校措置の代替に実施された夏休みの登校日数増と猛暑による生乳生産の落ち込みや巣ごもり需要の増加等とが重なり、学乳の安定供給に腐心するとともに、4~5月の休校措置等により、令和2年度の供給達成率が、供給予定数量の86.5%と極めて低い水準となるなど、経営面でも厳しい事業環境に置かれた1年であった。

上記のように、今年度は、コロナ禍の中で、当初予定していた事業の執行を断念せざるを得ないことが多々生じたが、その中において、協会では、長年の懸案であった学乳容器の全面紙化については、会員各位の努力により41市町村、41支援学校の紙化を実現するとともに、「牛乳・乳製品の消費拡大」「衛生管理の徹底や安全衛生管理体制の構築」などの項目にかかる各般の事業を事業実績に示すとおり実施したところである。

II. 事業実績

1. 牛乳・乳製品の消費拡大

牛乳・乳製品の消費拡大については、会員それぞれが新商品開発やホームページ等を通じて消費拡大に努めるとともに、協会においては中央団体及び関連団体とも歩調をあわせて消費者に対する牛乳・乳製品への理解の醸成を図ったところである。さらに、中央団体からの情報伝達などを通じて会員一体で消費拡大に向けた意識の共有化を図るとともに、生乳需要拡大事業の定着に努めた。

1) ブロック会議等の開催を通じた会員への消費拡大の要請

一般社団法人日本乳業協会上期ブロック会議

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)

一般社団法人日本乳業協会下期ブロック会議

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)

一般社団法人Jミルクブロック会議

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)

2) 中央団体からの情報の提供

一般社団法人日本乳業協会、一般社団法人Jミルクからの消費拡大に関する関連情報を会員に発信し、その周知に努めた。

3) 骨密度測定及び栄養指導事業の実施

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)

4) 牛乳に関する理解醸成活動事業に参画

一般社団法人日本乳業協会と共に、牛乳の風味変化を含む酪農や生乳の特性について生徒及び学校教育者等に理解醸成、牛乳の飲用促進を図ることを目的に実施した。

令和2年10月21日 出前授業研修会 (東大阪市立花園北小学校)

参加人数 37人

5) 生乳需給調整緊急支援事業 (牛乳等消費拡大対策支援事業) の実施

新型コロナウイルス感染症拡大に伴って牛乳乳製品の業務用需要が減少する中、牛乳乳製品の消費拡大を図るため、牛乳等を医療・福祉施設等に無償提供する取組を行った。

実施期間 令和2年4月27日～令和2年6月14日

提供先 日新会病院他延べ280箇所

提供本数 52,785本

金額 5,310,830円

2. 衛生管理及び安全管理体制の構築

協会の重点事業として、牛乳・乳製品に対する事故防止及び安全性の確保等を図るため、次の事業を実施した。

1) 講習会等への参画

○ 牛乳衛生講習会の実施

オンライン (YouTube) による開催

開催連絡日 令和2年10月5日

○ HACCP 講習会実務コース

HACCP 専門家養成講習会から HACCP に基づく衛生管理知識の習得を図る実務コースに内容を変更し開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

○ HACCP 手引書講習会

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)

○ 官能評価員育成研修会 (基礎コース) 令和2年11月13日

日本食品検査関西事業所 (神戸市)

〃 (専門コース) 令和3年3月17日～18日

公益財団法人日本乳業技術協会 (東京)

○ 乳製品表示講習会

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)

2) ブロック会議による衛生管理の周知

一般社団法人日本乳業協会上期ブロック会議

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)

一般社団法人日本乳業協会下期ブロック会議

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)

3) 各種情報の提供

国、大阪府、一般社団法人日本乳業協会、一般社団法人Jミルク、全国飲用牛乳公正取引協議会等からの通知や関連情報を会員に発信し、その周知・啓発に努めた。

3. 品質・表示にかかる公正規約の遵守

消費者の正しい商品選択と公正な市場競争に資するために「飲用乳の表示に関する公正競争規約」等の遵守に努めるとともに定期成分検査の実施等品質・表示の適正化に努めた。

1) ブロック会議の開催

全国飲用牛乳公正取引協議会上期ブロック会議

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)

全国飲用牛乳公正取引協議会下期ブロック会議

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)

2) 成分検査業務

期	1期成分検査	2期成分検査	3期成分検査	合計
検体数	93	94	94	281

3) 検査技術研修会

- ・開催状況 年間6回開催（合併検査コース、分析基礎コース、細菌検査コース）
受講料：有料
実施場所：(公財)日本乳業技術協会 乳業会館
- ・受講会員 今年度なし

※今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年間11回予定していたうち、中止が4回、変更1回、6回のみの実施となった。

4. 乳質管理委員会の開催

良質かつ安全安心な生乳を安定的に確保するため、次のとおり乳質管理委員会を開催し、生乳等の検査方法の検討協議、直近の生乳需給等について研修会等を開催した。

- ・委員 (株)明治、森永乳業(株)、雪印メグミルク(株)、協同乳業(株)、日本酪農協同(株)、(株)いかるが牛乳、いかるが乳業(株)、泉南乳業(株)、ビタミン乳業(株)（委員長：雪印メグミルク(株)）
- ・開催日 12月16日
通年年4回実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年1回のみの実施となった。

5. 衛生研修会等の実施

食品工場における衛生知識や衛生管理技術の向上を通じて、より安全・安心な牛乳の供給を確保することを目的として、研修会を実施する予定だったが、新型コロナウ

ウイルス感染拡大防止のため、東京でオンライン開催（9月15日）した講習会内容をYoutubeで視聴するかたちで行った。

○ 衛生研修会

- ・「乳協及び行政関連情報」

一般社団法人日本乳業協会常務理事 滝本 浩司 氏

- ・「衛生管理の基礎1及び基礎2」

公益財団法人日本乳業技術協会副部長 大嶋 秀克 氏

6. 学校給食用牛乳供給事業

本事業は「酪振法」に基づき、安全で品質の高い国内産の牛乳を学校給食用に継続して計画的かつ効率的に供給することを内容とする事業であり、「学校給食用牛乳供給対策要綱」（事務次官通知）によりその実施が図られている事業である。

当協会は、今年度においても国の施策の実施主体として、大阪府内において下記の学校給食用牛乳供給事業の執行に努めた。

1) 国庫補助事業実施状況(事業実施主体事業)

(単位：円)

	区 分	精算金額
1 学校給食用牛乳供給円滑化 推進事業	推進協議会等学乳に係る会議 学乳に係る必要な経費等	701,772
2 学校給食用牛乳安定需要確保 対策事業	学校給食用牛乳安定需要確保対策事業	42,936,198
3 学校給食用牛乳新規利用推 進事業	学校給食用牛乳新規利用推進事業	1,829,664
計		45,467,634

2) 大阪府学校給食用牛乳推進協議会の開催

「大阪府学校給食用牛乳推進協議会規約」に基づき、学校給食用牛乳供給の円滑な推進に向け、「令和3年度学乳供給価格等決定スケジュール予定」「大阪府学校給食用牛乳推進事業の運用の一部見直しに伴う大阪府学校給食用牛乳供給実施方針の改正について」今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催で行った。

(1) 推進協議会

第1回 2月2日

3) 学校給食用牛乳供給事業にかかる代表者会議

(1) 学校給食用牛乳供給代表者会議

①令和2年7月14日 ハービス PLAZA 5階会議室

- ・夏季における生乳の需給動向とその対応について
- ・紙化に向けた今後の対応について
- ・3月3日以降の休校に伴う違約金問題の現状とその配分について
- ・授業の夏季開催と生乳不足に向け対応について
- ・学乳供給校に新型コロナ患者が生じたときの対応について
- ・その他

(2) 学校給食用牛乳供給事業者代表者及び担当者合同会議

①令和3年 3月16日 スイスホテル南海大阪7階芙蓉

- ・令和3年度大阪府学校給食用牛乳供給事業について
- ・その他

III. 協会の運営状況に関する事項

定時総会及び理事会を開催し、定款に基づき協会の重要な意思決定及び協議を行った。

1) 総会の開催

第44回定時総会

ア 開催日時	令和2年 6月18日 15時
イ 出席会員数	12社
ウ 出席理事・監事数	8名
エ 開催場所	スイスホテル南海大阪
オ 主な議案と議決状況	

「令和元年度事業報告及び収支決算報告」、「令和元年度決算剰余金の処分案」、「定款の変更」「令和2年度事業計画案及び収支予算案」「役員選任」

以上の5議案を審議し、満場異議無く承認された。

2) 書面臨時総会

ア 開催日時	令和2年 8月28日 (書面総会)
イ 出席社員数	13社
ウ 主な議案と議決状況	「理事の補欠選任について」

以上の議案を審議し、承認された。

3) 理事会の開催

(1) 第1回理事会 (書面)

ア 開催日時	令和2年 5月18日
イ 理事数 (定足数)	8名

- ウ 監事数（定足数） 2名
- オ 主な議案の議決状況
「第43回定時総会議案書」（案）について
以上の議案事項について全理事が了承した。

(2) 第2回理事会

- ア 開催日時 令和2年6月18日 15時30分
- イ 出席理事数 9名
- ウ 出席監事数 2名
- エ 開催場所 スイスホテル南海大阪
- オ 主な議案の議決状況
副会長（実兼 好二氏）、専務理事（久下 憲一氏）、常務理事（宇田 裕氏）が選出された。

(3) 第3回理事会（書面）

- ア 開催日時 令和2年 8月 7日
- イ 理事数（定足数） 10名
- ウ 監事数（定足数） 2名
- エ 主な議案の議決状況
「理事の補欠選任に関する件」について
荻野 正雄氏が選出された
以上の議案事項について全理事が了承した。

(4) 第4回理事会（書面）

- ア 開催日時 令和3年 3月21日
- イ 理事数（定足数） 10名
- ウ 監事数（定足数） 2名
- エ 主な議案の議決状況
「令和2年度決算見込みに関する件」、「令和3年度暫定予算(案)に関する件」
以上の議案事項について全理事が了承した。

3) 監事監査の実施

- ア 開催日時 令和2年 5月13日 10時
- イ 開催場所 大阪府牛乳協会 会議室
- ウ 監査結果
小原 浩之介監事及び鵜 照監事による監査の結果、適正との監査結果報告を受けた。

IV. 諸会議に関する事項

- 1) 新年互礼会の開催
(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)
- 2) 近畿ブロック乳業協議会の開催
(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)

- 3) 中央団体の総会等
 - 一般社団法人日本乳業協会定時社員総会 令和2年 5月15日
ホテルグランドパレス

 - 全国飲用牛乳公正取引協議会定時委員会 書面開催

 - 一般社団法人Jミルク定時総会 令和2年 6月12日
ワイム貸会議室

- 4) 他団体の総会等
 - 一般社団法人全国牛乳流通改善協会 令和2年 6月26日
アルカディア市ヶ谷

 - 公益社団法人大阪食品衛生協会総会 令和2年 6月25日
大阪薬業クラブ

 - 一般社団法人大阪府畜産会定時総会 書面開催

 - 公益財団法人大阪府学校給食会給食大会 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止)

V. 協会の組織に関する事項

令和3年3月31日をもって、会員であったメロディアン株式会社が協会を退会した。